
JSON

基礎知識

JavaScript Object Notationの略、JavaScriptで使われるデータフォーマットの一つですが、現在JavaScriptにとどまらず様々なシーンで利用されています。

JSONの形式

```
{
  name: '高橋',
  age: 25,
  major: 'Web専攻'
}
```

Key: Valueをワンセットで持ち、カンマで区切ることで複数のペアを格納することが出来ます。

JavaScript内では変数名.Keyで値にアクセスすることが可能です。

```
const takahashi = { name: '高橋', age: 25, major: 'Web専攻' }
console.log(takahashi.name) //高橋と出力される
```

実際には複数のJSONデータを配列で扱うことが多い。

```
const persons = [
  { name: '深田', age: 24 },
  { name: '瀬川', age: 23 },
  { name: '水上', age: 26 }
]

persons.forEach(function(person) {
  console.log(person.name)
})

/*
深田
瀬川
水上
*/
```

JSONデータの取得

動的にJSONデータを取得するにはAJAXを使用しますがページが、ページが読み込まれた時にJSONデータを取得するのであればjQueryの\$.getJSONメソッドが便利です。

```
$.getJSON(JSONファイルのURL, コールバック関数);
```

例:

ローカルディレクトリにあるdata.jsonを読み込む場合

```
$.getJSON('data.json', function(data){  
    //読み込まれたJSONデータはdata変数に格納される  
    //実行したい処理を記述する  
});
```